

令和6年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	文化財保護事業				担当課名	産業振興課	
					担当係名	文化遺産活用係	
(予算書コード)	07-01-07-10-01						
事業区分	単年度予算	運営方法	直 営	委 託			
事業の開始・終了	年 月 ~		年 月	(事業に始期又は終期がある場合に記入)			
根拠法令等の名称	文化財保護事業 下諏訪町文化財保護条例						

【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	国指定天然記念物「八島ヶ原高層湿原」はじめ、国・県・町指定文化財や国登録文化財を適切に保存・管理し、良好な状態で次世代へ継承するとともに、積極的な情報発信を通じて、町民が文化財に親しみ、理解を深める機会を充実させる。						
事業の活動成果	指標名	指標の算出方法	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度
(事業の実施によりどのような状態にしたいか)	指定文化財・登録文化財の件数	指定・登録により保存を図っている、指定・登録文化財の件数をカウント	件	目 標	67	68	68
				実 績	67	67	
				達成率	100.0%	98.5%	

【投入されたコスト・業務量】

		令和5年度決算		令和6年度決算		令和7年度予算	
事業費	事業費 A	3,751 千円		5,476 千円		8,750 千円	
	うち 会計年度任用職員人件費	人	千円	人	千円	人	千円
	正規職員人件費 B	0.50 人	3,374 千円	0.80 人	5,550 千円	0.80 人	5,819 千円
事業費合計 C (A+B)		7,125 千円		11,026 千円		14,569 千円	
財源内訳	特定財源	国の負担	千円	935 千円	千円	千円	千円
		県の負担	千円	千円	千円	千円	千円
		町の借入	千円	千円	千円	千円	千円
		その他	950 千円	800 千円	900 千円	900 千円	千円
	うち 使用料・手数料 D		千円	千円	千円	千円	千円
一般財源 (町の負担)		6,175 千円		9,291 千円		13,669 千円	
受益者負担率 (D/C)		0 %		0 %		0 %	

【事業の評価】

区 分	評 価	説 明
妥当性	B	町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割分担できないか 町以外では行えない
公平性	A	受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか 適切である
効率性	A	予算、人員と成果を踏まえ、事業が効率的に行われているか 適切である
達成度	B	事業の活動成果は目標を上回っているか (下回っている場合は、その理由) 目標値どおりである 災害や火災等による滅失はなかった。また、新たな指定物件はなかった。

総合評価	拡 充	文化財保護法の趣旨に基づき、文化財の適切な保存・管理に努めることを継続していく。 また、旧矢崎商店を中心とした歴史的建築物の調査を実施し、今後の保存活用に向けた検討を行っていく。
前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)	現状維持	従来の文化財の保存活用に加え、歴史的建造物の調査等にも着手するため。

令和6年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	博物館の活動				担当課名	産業振興課	
					担当係名	文化遺産活用係	
(予算書コード)	07-01-06-12-01・14-01						
事業区分	単年度予算	運営方法	直 営	委 託			
事業の開始・終了	年 月 ～ 年 月 (事業に始期又は終期がある場合に記入)						
根拠法令等の名称	博物館法、下諏訪町立博物館条例、下諏訪町立博物館条例施行規則						

【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	地域博物館として、地域住民が地域への理解を深め、地域を自慢に思う心を育み、地域の歴史文化を探究する場として、展示や講座などの事業展開を図る。あわせて、下諏訪町を訪れる観光客の皆様にもこの地域の魅力を伝え、歴史文化を体感していただくような文化観光に繋げていく。						
事業の活動成果	指標名	指標の算出方法	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度
(事業の実施によりどのような状態にしたいか)	利用者数(年間入館者数)	入館者の人数をカウント	人	目 標	4,200	4,500	4,000
				実 績	5,097	3,447	
				達成率	121.4%	76.6%	

【投入されたコスト・業務量】

		令和5年度決算		令和6年度決算		令和7年度予算	
事業費	事業費 A	2,533 千円		2,656 千円		4,854 千円	
	うち 会計年度任用職員人件費	人	千円	0.60 人	千円	1.60 人	千円
	正規職員人件費 B	0.50 人	3,374 千円	0.80 人	5,550 千円	0.80 人	5,819 千円
事業費合計 C (A+B)		5,907 千円		8,206 千円		10,673 千円	
財源内訳	特定財源	国の負担	千円	千円	千円	千円	千円
		県の負担	千円	千円	千円	千円	千円
		町の借入	千円	千円	千円	千円	千円
		その他	千円	千円	千円	千円	千円
	うち 使用料・手数料 D		千円	千円	千円	千円	千円
一般財源 (町の負担)		5,907 千円		8,206 千円		10,673 千円	
受益者負担率 (D/C)		0 %		0 %		0 %	

【事業の評価】

区 分	評 価	説 明
妥当性	B	町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割分担できないか 町以外では行えない
公平性	A	受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか 適切である
効率性	A	予算、人員と成果を踏まえ、事業が効率的に行われているか 適切である
達成度	C	事業の活動成果は目標を上回っているか (下回っている場合は、その理由) 目標値以下である コロナ禍前の水準には回復したものの、施設のPR不足などの理由により、目標を上回ることができなかった。

総合評価	手法改善	施設のPRとともに、常設展示の充実、定期的な企画展の開催などにより、魅力的な博物館運営に努め、展示図録の発行や、ミュージアムグッズの開発などにも取り組んでいく。
	手法改善の内容	関連イベントや学芸員による講座の開催についても検討し、繰り返し足を運んでもらえる博物館を目指す。
前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)	現状維持	入館者増を図るため、これまでの運営方法の見直しが必要であるため。

令和6年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	博物館資料の保存整理				担当課名	産業振興課	
					担当係名	文化遺産活用係	
(予算書コード)	07-01-06-16-01						
事業区分	単年度予算	運営方法	直 営				
事業の開始・終了	年	月 ~	年	月	(事業に始期又は終期がある場合に記入)		
根拠法令等の名称	博物館法、下諏訪町博物館条例、文化財保護法、下諏訪町文化財保護条例						

【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	地域に残され、伝承されてきた貴重な文化遺産を広く収集し、整理保存することで、次世代へ引き継いでいくとともに、展示や事業等で活用できるよう、調査研究を通じて史料価値を高めていく。						
事業の活動成果	指標名	指標の算出方法	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度
(事業の実施によりどのような状態にしたいか)	資料整理数	資料カードを起票した数	枚	目 標	1,000	700	700
				実 績	780	567	
				達成率	78.0%	81.0%	

【投入されたコスト・業務量】

			令和5年度決算		令和6年度決算		令和7年度予算	
事業費	事業費 A		979 千円		1,136 千円		3,232 千円	
	うち 会計年度任用職員人件費		1.00 人	913 千円	1.00 人	769 千円	1.00 人	3,166 千円
	正規職員人件費 B		0.25 人	1,687 千円	0.50 人	3,469 千円	0.50 人	3,637 千円
事業費合計 C (A+B)			2,666 千円		4,605 千円		6,869 千円	
財源内訳	特定財源	国の負担		千円		千円		千円
		県の負担		千円		千円		千円
		町の借入		千円		千円		千円
		その他		千円		千円		千円
	うち 使用料・手数料 D			千円		千円		千円
一般財源（町の負担）			2,666 千円		4,605 千円		6,869 千円	
受益者負担率（D／C）			0 %		0 %		0 %	

【事業の評価】

区 分	評 価	説 明
妥当性	B	町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割分担できないか 町以外では行えない 博物館法の趣旨に沿って行うものであり、専門知識を有する職員が実施する必要がある。
公平性	A	受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか 適切である 収集した資料は、整理保存、調査研究を通じて、学校教育や住民の学習、研究者の研究活動等に役だてられている。
効率性	A	予算、人員と成果を踏まえ、事業が効率的に行われているか 適切である 専門的知識、技術を持つ職員が適切な方法で、費用を抑えながら効率的に資料化している。
達成度	C	事業の活動成果は目標を上回っているか (下回っている場合は、その理由) 目標値以下である 下駄スケートや民具など、一定数の資料寄贈があるものの、目標値には達しなかった。また、資料の再整理が当初の計画より進まなかった。

総合評価	手法改善	下駄スケートの国登録文化財への登録により、下駄スケートの寄贈数が増えている。文化財の重要性についての情報発信などにより資料の収集数を増やし、さらに活用につなげるサイクルを構築していく。
	手法改善の内容	企画展や関連行事の開催により、地域住民と博物館との接点をつくることにより、個人蔵の資料を提供していただける機会を増やしていく。
前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)		現状維持 情報発信、博物館での行事等により、資料提供に関する周知を行うなどの手法の見直しが必要であるため。

令和6年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	博物館の維持管理				担当課名	産業振興課	
					担当係名	文化遺産活用係	
(予算書コード)	07-01-06-10-01						
事業区分	単年度予算	運営方法	直 営	委 託			
事業の開始・終了	年	月 ~	年	月	(事業に始期又は終期がある場合に記入)		
根拠法令等の名称	博物館法、下諏訪町博物館条例						

【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	博物館は、資料の収集・保管・展示をする施設であることから、適切な環境下での資料保存が求められているとともに、地域の歴史文化の学習拠点でもあるため、利用者にとっての快適な環境づくりのため施設全体の適切な維持管理を行う。						
事業の活動成果 (事業の実施によりどのような状態にしたいか)	指標名	指標の算出方法	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度
		維持管理に係る経費であることから指標設定は困難		目 標			
				実 績			
				達成率			

【投入されたコスト・業務量】

		令和5年度決算		令和6年度決算		令和7年度予算	
事業費	事業費 A	9,224 千円		12,175 千円		10,567 千円	
	うち 会計年度任用職員人件費	人	千円	人	千円	人	千円
	正規職員人件費 B	0.25 人	1,687 千円	0.40 人	2,775 千円	0.40 人	2,910 千円
事業費合計 C (A+B)		10,911 千円		14,950 千円		13,477 千円	
財源内訳	特定財源	国の負担	千円	千円	千円	千円	千円
		県の負担	千円	千円	千円	千円	千円
		町の借入	千円	千円	千円	千円	千円
		その他	千円	3,485 千円	2,338 千円	千円	千円
	うち 使用料・手数料 D		1,259 千円	834 千円	1,338 千円	千円	千円
一般財源 (町の負担)		10,911 千円		11,465 千円		11,139 千円	
受益者負担率 (D/C)		11.539 %		5.579 %		9.928 %	

【事業の評価】

区 分	評 価	説 明
妥当性	B	町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割分担できないか 町以外では行えない
公平性	A	受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか 適切である
効率性	B	予算、人員と成果を踏まえ、事業が効率的に行われているか 検討の余地がある
達成度		事業の活動成果は目標を上回っているか (下回っている場合は、その理由) 施設の日常的な維持管理であり、目標値の設定が困難であるため、指標設定はなじまない。

総合評価	拡 充	施設の現状を把握し、最善の改修方法や、建築、設備等の修繕の優先順位などについて検討したうえで、なるべく早期に大規模改修に着手できるよう、関係部局と調整を図っていく。
前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)	拡 充	

令和6年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	宿場街道資料館の維持管理				担当課名	産業振興課	
					担当係名	文化遺産活用係	
(予算書コード)	07-01-06-18-01						
事業区分	単年度予算	運営方法	直 営	委 託			
事業の開始・終了	年 月 ～		年 月		(事業に始期又は終期がある場合に記入)		
根拠法令等の名称	博物館法、下諏訪町博物館条例						

【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	明治初頭に建築された歴史的建造物を適切に維持管理するとともに、宿場や街道の歴史文化を学ぶ施設として、利用者が快適に利用できるように維持管理に努める。						
事業の活動成果	指標名	指標の算出方法	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度
(事業の実施によりどのような状態にしたいか)	利用者数(年間入館者数)	入館者の人数をカウント	人	目 標	11,000	11,000	11,000
				実 績	12,310	10,791	
				達成率	111.9%	98.1%	

【投入されたコスト・業務量】

			令和5年度決算		令和6年度決算		令和7年度予算	
事業費	事業費 A		3,089 千円		3,305 千円		2,089 千円	
	うち 会計年度任用職員人件費		1.00 人	2,003 千円	1.00 人	2,449 千円	人	千円
	正規職員人件費 B		0.20 人	1,350 千円	0.20 人	1,388 千円	0.20 人	1,455 千円
事業費合計 C (A+B)			4,439 千円		4,693 千円		3,544 千円	
財源内訳	特定財源	国の負担	千円		千円		千円	
		県の負担	千円		千円		千円	
		町の借入	千円		千円		千円	
		その他	千円		千円		千円	
		うち 使用料・手数料 D	千円		千円		千円	
一般財源（町の負担）			4,439 千円		4,693 千円		3,544 千円	
受益者負担率（D／C）			0 %		0 %		0 %	

【事業の評価】

区 分	評 価	説 明
妥当性	B	町以外では行えない 地域における歴史文化の学習拠点として、また文化遺産を活かしたまちづくりの拠点施設として、直営による運営が必要である。
公平性	A	適切である 社会教育法に基づき、博物館法及び博物館条例に則して、公平、適正に維持管理している。なお、当館の入館料は利用促進の観点から無料としている。
効率性	A	適切である 不具合箇所については早期の修繕を図り、歴史的建造物を適切に維持している。
達成度	C	目標値以下である 目標値を若干下回ったものの、ほぼ目標を達成することができた。

総合評価	現状維持	下社秋宮、中山道が近接し、観光客が散策するエリアに立地することから、来館者に喜ばれる施設運営を維持しながら、展示内容の定期的な見直し、三角八丁などイベントにおける活用も図っていく。
前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)	現状維持	

令和6年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	伏見屋邸の維持管理				担当課名	産業振興課	
					担当係名	文化遺産活用係	
(予算書コード)	07-01-06-22-01						
事業区分	単年度予算	運営方法	直 営	委 託			
事業の開始・終了	年	月 ~	年	月	(事業に始期又は終期がある場合に記入)		
根拠法令等の名称	博物館法、下諏訪町博物館条例						

【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	国登録有形文化財の歴史的建造物を適切に維持、保存し、良好な状態で次世代に継承するとともに文化財の活用とおもてなしによる交流施設として、多くの方に親しまれるよう維持していく。						
事業の活動成果	指標名	指標の算出方法	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度
(事業の実施によりどのような状態にしたいか)	利用者数(年間入館者数)	入館者の人数をカウント	人	目 標	11,000	11,000	10,000
				実 績	8,217	8,095	
				達成率	74.7%	73.6%	

【投入されたコスト・業務量】

		令和5年度決算		令和6年度決算		令和7年度予算	
事業費	事業費 A	6,799 千円		3,551 千円		3,719 千円	
	うち 会計年度任用職員人件費	人	千円	人	千円	人	千円
	正規職員人件費 B	0.20 人	1,350 千円	0.20 人	1,388 千円	0.20 人	1,455 千円
事業費合計 C (A+B)		8,149 千円		4,939 千円		5,174 千円	
財源内訳	特定財源	国の負担	千円	千円	千円	千円	千円
		県の負担	千円	千円	千円	千円	千円
		町の借入	千円	千円	千円	千円	千円
		その他	3,335 千円	千円	千円	千円	千円
	うち 使用料・手数料 D		千円	千円	千円	千円	千円
一般財源 (町の負担)		4,814 千円		4,939 千円		5,174 千円	
受益者負担率 (D/C)		0 %		0 %		0 %	

【事業の評価】

区 分	評 価	説 明
妥当性	B	町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割分担できないか 町以外では行えない
公平性	A	受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか 適切である
効率性	A	予算、人員と成果を踏まえ、事業が効率的に行われているか 適切である
達成度	C	事業の活動成果は目標を上回っているか (下回っている場合は、その理由) 目標値以下である

総合評価	手法改善	周辺を散策する観光客の増加に期待するところではあるが、管理を委託するシルバー人材センターとも連携を図り、多くの方に足を運んでもらえる事業を展開していく。
	手法改善の内容	三角八丁などイベントにおける活用や、地元の方にも来館してもらえる企画展示の開催などを検討していく。
前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)		手法改善

令和6年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	今井邦子文学館の維持管理				担当課名	産業振興課	
					担当係名	文化遺産活用係	
(予算書コード)	07-01-06-20-01						
事業区分	単年度予算	運営方法	直 営	委 託			
事業の開始・終了	年 月 ~		年 月	(事業に始期又は終期がある場合に記入)			
根拠法令等の名称	博物館法、下諏訪町博物館条例						

【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	江戸時代の面影を残す歴史的建造物を適切に維持管理するとともに、女性だけの短歌結社「明日香社」を創始した今井邦子を語り継いでいく短歌・文学の学習施設として、利用者が快適に利用できるように維持管理に努める。						
事業の活動成果	指標名	指標の算出方法	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度
(事業の実施によりどのような状態にしたいか)	利用者数(年間入館者数)	入館者の人数をカウント	人	目 標	4,000	2,000	2,000
				実 績	1,529	1,425	
				達成率	38.2%	71.3%	

【投入されたコスト・業務量】

			令和5年度決算			令和6年度決算			令和7年度予算		
事業費	事業費 A		2,103 千円			1,788 千円			1,898 千円		
	うち 会計年度任用職員人件費		人	千円	人	千円	人	千円			
	正規職員人件費 B		0.25 人	1,687 千円	0.20 人	1,388 千円	0.20 人	1,455 千円			
事業費合計 C (A+B)			3,790 千円			3,176 千円			3,353 千円		
財源内訳	特定財源	国の負担	千円		千円		千円				
		県の負担	千円		千円		千円				
		町の借入	千円		千円		千円				
		その他	千円		千円		千円				
		うち 使用料・手数料 D	千円		千円		千円				
一般財源（町の負担）		3,790 千円			3,176 千円			3,353 千円			
受益者負担率（D／C）			0 %			0 %			0 %		

【事業の評価】

区 分	評 価	説 明
妥当性 町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割分担できないか	B 町以外では行えない	地域における歴史文化の学習施設として、また文化遺産を活かしたまちづくりの拠点施設として、直営による運営が必要である。
公平性 受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか	A 適切である	社会教育法の精神に基づき、博物館法及び町博物館条例に則して、公平、適正に維持管理している。なお、当館の入館料は利用促進の観点から無料としている。
効率性 予算、人員と成果を踏まえ、事業が効率的に行われているか	A 適切である	不具合箇所について早期の修繕を図ることで歴史的建造物を適切に維持している。
達成度 事業の活動成果は目標を上回っているか (下回っている場合は、その理由)	C 目標値以下である	施設のPR不足などの理由により、目標を上回ることができなかった。

総 合 評 価	手法改善	令和6年度から冬期の12～2月の期間は土日・祝日のみの開館としたことも影響し、利用者数が伸び悩んだ。常設展のリニューアルや、企画展などの開催を検討し、入館者増を図っていく。
	手法改善の内容	通常の利用に加え、地元の短歌会等への利用の働きかけや、観光振興局による中山道ツアーでの活用についても検討していく。
前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)		手法改善

令和6年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	七曜星社蔵の維持管理				担当課名	産業振興課	
					担当係名	文化遺産活用係	
(予算書コード)	07-01-06-24-01						
事業区分	単年度予算	運営方法	直 営	委 託			
事業の開始・終了	年 月 ~		年 月		(事業に始期又は終期がある場合に記入)		
根拠法令等の名称	博物館法、下諏訪町博物館条例						

【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	明治期の製糸業興隆の面影を残す歴史的建造物を維持、管理し、良好な状態で次世代へ継承するとともに、まち歩きの休憩施設として親しまれるよう維持していく。						
事業の活動成果	指標名	指標の算出方法	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度
(事業の実施によりどのような状態にしたいか)		無人施設であることから利用者を指標とすることができない		目 標			
				実 績			
				達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	

【投入されたコスト・業務量】

			令和5年度決算		令和6年度決算		令和7年度予算	
事業費	事業費 A		22 千円		22 千円		23 千円	
	うち 会計年度任用職員人件費		人	千円	人	千円	人	千円
	正規職員人件費 B		0.25 人	1,687 千円	0.20 人	1,388 千円	0.20 人	1,455 千円
事業費合計 C (A+B)			1,709 千円		1,410 千円		1,478 千円	
財源内訳	特定財源	国の負担	千円		千円		千円	
		県の負担	千円		千円		千円	
		町の借入	千円		千円		千円	
		その他	千円		千円		千円	
	うち 使用料・手数料 D		千円		千円		千円	
一般財源（町の負担）			1,709 千円		1,410 千円		1,478 千円	
受益者負担率（D／C）			0 %		0 %		0 %	

【事業の評価】

区 分	評 価	説 明
妥当性 町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割 分担できないか	B 町以外では 行えない	地域と利用者を結ぶ交流施設として、また文化遺産を活用したまちづくりの拠点施設として、直営による運営が必要である。
公平性 受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか	A 適切である	社会教育法に基づき、博物館法及び町博物館条例に則して、公平、適正に維持管理している。
効率性 予算、人員と成果を踏まえ、事業が効率的に行われているか	A 適切である	不具合箇所について早期に修繕を図ることで歴史的建造物を適切に維持している。
達成度 事業の活動成果は目標を上回っているか (下回っている場合は、その理由)		無人施設の維持管理であり、入館者数等の目標値を設定できないので指標設定になじまない。

総合評価	現状維持	下諏訪の製糸業の歴史を語る数少ない建造物の一つであるので、適切な維持管理に今後も努め、次世代に伝えていく。
前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)	現状維持	

令和6年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	星ヶ塔ミュージアムの維持管理				担当課名	産業振興課
					担当係名	文化遺産活用係
(予算書コード)	07-01-07-22-01					
事業区分	単年度予算	運営方法	直 営	その他		指定管理
事業の開始・終了	年 月 ～ 年 月 (事業に始期又は終期がある場合に記入)					
根拠法令等の名称	文化財保護法、下諏訪町埋蔵文化財センター星ヶ塔ミュージアム条例					

【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	国史跡「星ヶ塔黒曜石原産地遺跡」のガイダンス施設として、指定管理者と連携し適切な維持管理を図るとともに、町民や観光で訪れる多くの方々に、埋蔵文化財や黒曜石を通じた下諏訪の歴史を学習できる場として事業展開を図る。					
事業の活動成果	指標名	指標の算出方法	単位		令和5年度	令和6年度
(事業の実施によりどのような状態にしたいか)	利用者数(年間入館者数)	今昔館の入館者数をカウント	人	目 標	10,000	8,000
				実 績	8,937	7,525
				達成率	89.4%	94.1%

【投入されたコスト・業務量】

			令和5年度決算			令和6年度決算			令和7年度予算		
事業費	事業費 A		3,366 千円			9,728 千円			3,529 千円		
	うち 会計年度任用職員人件費		人	千円	人	千円	人	千円			
	正規職員人件費 B		0.20 人	1,350 千円	0.20 人	1,388 千円	0.20 人	1,455 千円			
事業費合計 C (A+B)			4,716 千円			11,116 千円			4,984 千円		
財源内訳	特定財源	国の負担	千円			2,988 千円			千円		
		県の負担	千円			千円			千円		
		町の借入	千円			千円			千円		
		その他	千円			千円			千円		
		うち 使用料・手数料 D	千円			千円			千円		
一般財源（町の負担）			4,716 千円			8,128 千円			4,984 千円		
受益者負担率（D／C）			0 %			0 %			0 %		

【事業の評価】

区 分	評 価	説 明
妥当性	C	協働を検討すべき 日常的な運営業務については指定管理者制度を導入している。施設の維持管理、展示等の事業開催については町が直営で実施。
公平性	A	適切である 一体的に運営される「しもすわ今昔館」として入館料を徴収。
効率性	A	適切である 指定管理者と町とで効率的に維持管理、運営している。
達成度	C	目標値以下である コロナ禍前の水準に回復していないが、観光振興局の星ヶ塔遺跡ツアーとの連携を行い、誘致誘客に努めている。

総合評価	現状維持	観光振興局による星ヶ塔遺跡の観光ツアーやその宣伝効果によって星ヶ塔遺跡への関心が全国的に高まっているため、この機会を捉えて、より多くの方に来館してもらえるよう、展示解説の更新や展示品のリニューアルなどの事業展開を図っていく。
前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)	拡 充	前年度に実施したデジタルサイネージの構築、設置が完了したため。

令和6年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	星ヶ塔遺跡の管理				担当課名	産業振興課
(予算書コード)	07-01-07-14-01				担当係名	文化遺産活用係
事業区分	単年度予算	運営方法	直 営	委 託		
事業の開始・終了	年 月 ～ 年 月 (事業に始期又は終期がある場合に記入)					
根拠法令等の名称	文化財保護法、下諏訪町文化財保護条例					

【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	国史跡「星ヶ塔黒曜石原産地遺跡」を適切に保存し、良好な状態で次世代に継承していくとともに、町観光振興局が開催する観光体験プログラムのツアー見学場所として、参加者が安全に見学できるよう日常的な整備を行う。					
事業の活動成果 (事業の実施によりどのような状態にしたいか)	指標名	指標の算出方法	単位		令和5年度	令和6年度
		国指定文化財の保存・管理に係る経費であることから指標設定は困難		目 標		
				実 績		
				達成率		

【投入されたコスト・業務量】

		令和5年度決算		令和6年度決算		令和7年度予算	
事業費	事業費 A	158 千円		201 千円		231 千円	
	うち 会計年度任用職員人件費	人	千円	人	千円	人	千円
	正規職員人件費 B	0.30 人	2,025 千円	0.30 人	2,081 千円	0.30 人	2,182 千円
事業費合計 C (A+B)		2,183 千円		2,282 千円		2,413 千円	
財源内訳	特定財源	国の負担	千円	千円	千円	千円	千円
		県の負担	千円	千円	千円	千円	千円
		町の借入	千円	千円	千円	千円	千円
		その他	千円	千円	千円	千円	千円
	うち 使用料・手数料 D		千円	千円	千円	千円	千円
一般財源 (町の負担)		2,183 千円		2,282 千円		2,413 千円	
受益者負担率 (D/C)		0 %		0 %		0 %	

【事業の評価】

区 分	評 価	説 明
妥当性	A	町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割分担できないか 法律で義務付けられている 文化財保護法による史跡星ヶ塔黒曜石原産地遺跡の管理団体は町であるため、町が管理しなくてはならない。
公平性	A	受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか 適切である 令和3年度から始まった町観光振興局による観光ツアーが令和5年度も継続され、県内外から多くの方が遺跡に訪れるようになり、全国的な幅広い地域の、幅広い世代の方に遺跡を楽しんでいただいている。
効率性	A	予算、人員と成果を踏まえ、事業が効率的に行われているか 適切である 観光係や観光振興局にも協力を得て、効率的に現地の管理を行っている。
達成度		事業の活動成果は目標を上回っているか (下回っている場合は、その理由) 草刈りや散策路の整備が主な業務内容であることから、目標値の設定が困難であるため、指標設定になじまない。

総合評価	現状維持	観光振興局による観光ツアーで多くの方が遺跡を訪れるようになり、遺跡の活用という面では大きな成果が上がっている。今後も観光ツアーによる活用を継続できるよう、適切な遺跡の保存管理に努め、遺跡の魅力を十分に伝えられるよう維持を図っていく。
前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)	現状維持	

令和6年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	柿蔭山房公開活用事業				担当課名	産業振興課	
					担当係名	文化遺産活用係	
(予算書コード)	07-01-07-16-01						
事業区分	単年度予算	運営方法	直 営	委 託			
事業の開始・終了	年 月 ~		年 月	(事業に始期又は終期がある場合に記入)			
根拠法令等の名称	文化財保護法、下諏訪町文化財保護条例						

【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	町指定文化財「島木赤彦住居(柿蔭山房)」を適切に維持管理し、良好な状態で次世代に継承するとともに、歴史的建造物を学ぶ施設として、また歌人島木赤彦の業績を伝える学びの施設として公開活用を図る。						
事業の活動成果	指標名	指標の算出方法	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度
(事業の実施によりどのような状態にしたいか)	利用者数(年間入館者数)	入館者の人数をカウント	人	目 標	130	50	50
				実 績	47	14	
				達成率	36.2%	28.0%	

【投入されたコスト・業務量】

			令和5年度決算			令和6年度決算			令和7年度予算		
事業費	事業費 A		546 千円			294 千円			517 千円		
	うち 会計年度任用職員人件費		人	千円	人	千円	人	千円			
	正規職員人件費 B		0.20 人	1,350 千円	0.20 人	1,388 千円	0.20 人	1,455 千円			
事業費合計 C (A+B)			1,896 千円			1,682 千円			1,972 千円		
財源内訳	特定財源	国の負担	千円		千円		千円				
		県の負担	千円		千円		千円				
		町の借入	千円		千円		千円				
		その他	千円		千円		千円				
		うち 使用料・手数料 D	千円		千円		千円				
一般財源（町の負担）			1,896 千円			1,682 千円			1,972 千円		
受益者負担率（D／C）			0 %			0 %			0 %		

【事業の評価】

区 分	評 価	説 明
妥当性	B	町以外では行えない 町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割分担できないか 町が所有する指定文化財であるため、町が管理・運営する。
公平性	A	適切である 受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか 町指定文化財として保護を図る一方で、定期的に施設内部を公開し、講座等の事業を行うことで活用を図り、町民や観光客の方々に訪れていただいている。
効率性	A	適切である 予算、人員と成果を踏まえ、事業が効率的に行われているか 施設内部の公開に当たっては、シルバー人材センターへ開閉及び管理を委託することで業務の効率化を図っている。
達成度	D	目標達成は困難 事業の活動成果は目標を上回っているか (下回っている場合は、その理由) 今年度から、定期公開を廃止し、事前予約による公開に変更したが、公開の希望者が伸び悩み、目標を下回った。

総合評価	手法改善	令和5年度まで一定期間の日曜日のみ公開していたが、入館者が少ない状況であるため、手法の見直しを行い事前予約による公開方法に変更した。しかし、利用者が増えない状況であるため、さらに手法の見直しが必要。
	手法改善の内容	施設を活用したイベントの開催や、観光振興局と連携し旅行商品に組み込んでもらうなどの改善を検討していく。
前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)	縮 小	令和5年度は公開方法の見直しを行ったため縮小としたが、今後は現在の方針を引き継ぎながら、さらなる活用を図っていく。